

算数の学習についてお願い



今、1年生では、たし算とひき算の勉強をしています。最初は、頭の中で計算して答えを出すのではなく、サクランボ式を作って計算しています。一見、時間がかかって大変だと思われそうですが、数の合成と分解(8は2と6。3と4で7など)を定着させるのに、とても大切な方法です。ただ $9 + 4 = 13$ と答えを覚えるのではなく、やり方を覚えることが大切なのです。

サクランボ式を作るときに使う、数の合成と分解(いくつといくつ)は1年生の学習の中で最も大切といっても過言ではありません。これからの算数学習のすべての基礎となります。学校でも常に復習しますが、ぜひ、おうちでも数の合成と分解をみてあげてください。(すらすら言えるまで何回も言わせる)

たし算とひき算は、サクランボ式を書くよう指導しています。おうちでもはげましのお声かけをおねがいします。(計算カードでは、すらすら言えるように練習します。こちらもお願ひします。)お願ひばかりで申し訳ありませんが、学校と家庭で協力して、学力をつけていきましょう。

学校では、このように教えています!!

<たし算のサクランボ式> 数が小さい方にサクランボを作る!(10が作りやすいように)

$$9 + 4 = 13$$

$$3 + 9 = 12$$

<考え方>

9はあと1で10
4を1と3にわけ。(数の合成と分解)
9に1をたして10
まるでかこって、10をなかにかく。
10と3で13

9はあと1で10
3を2と1にわけ。
9に1をたして10
まるでかこって、10をなかにかく。
10と2で12

<ひき算のサクランボ式> ひかれる数にサクランボを作る。(3から9はひけないから。)

$$13 - 9 = 4$$

3から9はひけない。
13を10と3にわけ。(数の合成と分解)
10から9をひいて1。10にななめせんをかいて、下に1をかく。
1と3で4

<数の合成と分解がすらすら言えるようになろう!> 算数「いくつといくつ」

例 9は 1と8 2と7 3と6 4と5 5と4 6と3 7と2 8と1

考えなくてもすらすら言えるようになること。1~9すべての数の合成と分解ができるように練習しておくことがもっとも大切です!

